



熊谷市立妻沼東中学校

校長 森 香明

一 本校の沿革

本校は、昭和三十七年四月、長井中学校を南校、秦中学校を北校と改称して、力強く歩み出しました。昭和三十九年四月、妻沼町をあげての町民の思いと願いのこもった新校舎が建設され、南校生徒による新校舎での授業が開始されました。翌年昭和四十年四月から北校生徒及び妻沼中学校の一部の生徒も加わり、本校の統合が完了しました。その後、平成十七年十月の市町合併により、校名を熊谷市立妻沼東中学校と改称し、熊谷市の中学校として新たな歩みを始めました。開校当時の施設は、鉄筋三階建教室棟、木造二階建管理棟、鉄筋平屋建特別教室、体育館、広大な運動場を備えた立派な学校施設であり、先人の並々ならぬ学校建設への情熱が伺われます。

現在学校では、「熊谷の子どもたちは、これが

できます！『4つの実践』と『3減運動』の下、

「あいさつ」と「ありがとう」の感謝の心が溢れる学校を目指し、家庭、生徒、教職員一丸となり、地域に愛される学校づくりに取り組んでいます。

二 校章・校歌制定に係るエピソード

1 校章

① 制定年 昭和四十一年三月五日

② 原形を「めぬま」の「めの字」を象形して輪郭化し、三個の鉾を「妻沼」と「長井」と「秦」の地区を表現したものです。

2 校歌

① 制定年 昭和四十一年三月五日

② 制定日の三月五日は、盛大な校歌発表披露会が行われました。校歌で歌い継がれる「勤労」「愛」「英知」「己がじし形づくれ」の精神のもと、多くの方々の御指導により、巣立った卒業生が、地元・各地域、各界で御活躍されています。

妻沼東中学校校歌

石坂養平 作詞
山本れん 作曲

♩ = 96 遅付いてあかるく

1 まなびやらかくながれゆきわ
2 そらとぶくものあしはやくあ
3 われらのむねにあいあふれえ

たうみめどすおおどおほい
るはゆるかにわたるひはめ
いらのさがのひかるとき

どしわこうどきんろをい
ぐしわこうどおのがじしか
にひとどもにむつみあうや

らぎとせよとさどすなり
たらづくれとあかすなり
すらぎのよほうまるべし

妻沼東中学校 校歌

作詞 石坂養平
作曲 山本れん

一 学び舎近く 流れ行き

わたうみ目ざす 大利根は

いとしわこうど 勤労を

一義とせよと

さとす (啓示) なり

二 空飛ぶ雲の あし (脚) はやく

あるはゆるかに わたる日は

めぐしわこうど おのがじし

形づくれと

あかす (説得) なり

三 われらの胸に 愛あふれ

英知のさがの ひかるとき

国 人ともに 睦み合う

安らぎの世は 生まるべし